

Heart of Tajimi
— たじみ市民討議会 2019 —

実施報告書



2020年3月

たじみ市民討議会 実行委員会

目 次

1. はじめに	1
2. 「たじみ市民討議会 2019」について	1
2-1. 概要	2
2-2. 協定書締結	2
2-3. 運営組織	2
2-4. 実行委員会	2
2-5. 活動実績	2
3. 討議会の実施について	3
3-1. テーマ選定について	3
3-2. 参加者について	4
3-3. 謝礼について	4
3-4. 討議の方法	4
3-5. 情報提供について	5
3-6. 話し合いのルール	5
4. 討議会の結果と市民からの提言	5
5. 『たじみ市民討議会 2019』の検証	8
6. 『たじみ市民討議会』の今後の取り組み	8
6-1. 参加者の減少	8
6-2. 今後の継続性について	8
6-3. 事後のフォロー	8
7. 協賛者ご挨拶	9
8. 終わりに	10
資料 1. 話し合いシート	11～29
資料 2. 参加者アンケート	30～32

1. はじめに

本報告書は「たじみ市民討議会実行委員会」が多治見市役所と協定を締結し、(一社)多治見青年会議所のご協力を得て実施した「Heart of Tajimi -たじみ市民討議会 2019-」について、報告するものである。

2019年の「たじみ市民討議会」は8月24日、25日に多治見市民37人の参加を得て実施された。基本コンセプトとして『住みやすいまち たじみ』を掲げ、『交通インフラ』に焦点を当てて、『もし、車が使えなくなったら何に困りますか？また、どうしたらその困り事を解決できますか？』『どんなバスだったら乗りたくなりますか？』『どんな仕組みがあればあいのりタクシーに乗りたと思いますか？』『渋滞を無くしていくための仕組みづくりを考えてみましょう！』の4つのテーマについて話し合いを行って頂いた。さらにその結果を検証し、集計・分析をして多治見市に対して提言を行った。



「たじみ市民討議会 2019」実行委員会

2. 「たじみ市民討議会 2019」について

2-1 概要

『たじみ市民討議会』はドイツで提唱された『プラーヌンクスツェレ』を参考に、2009年に(一社)多治見青年会議所が、「Heart of Tajimi -たじみ市民討議会 2009-」と題して、第1回『たじみ市民討議会』を企画立案し、以後2012年に市民による実行委員会を立ち上げ、本年に至る11年間、継続して実施している。

『たじみ市民討議会』は広く市民の「声なき声」を集約すべく 18 歳以上の多治見市民を対象に、住民基本台帳を基に無作為抽出された 3,000 人に対して参加依頼書を送付し、参加を受諾された市民により、年ごとに設定したテーマに沿って話し合いを行って頂く。そこで出た意見を集約・合意形成した結果を市政に提言を行う市民活動である。

2-2 協定書締結

『たじみ市民討議会』を実施するにあたり、実行委員会と多治見市との間で『協定書』を締結した。協定の内容は、①実施の目的、②相互の協働の精神に基づく原則、③役割と責務などを明確にし、確認するものである。



協定書締結式の様子

2-3 運営組織

実行委員会は市民委員 30 人で次のように組織した。

- ・実行委員会委員長（1 人）、副委員長（2 人）、顧問（1 人）で運営し、会を代表する。
- ・運営にあたって必要に応じて運営委員（若干名）を招集して運営方法を協議した。
- ・オブザーバーとして（一社）多治見青年会議所「次代を担う青少年育成委員会」のメンバー、多治見市企画部秘書広報課の職員にも参加して頂いた。

2-4 実行委員会

実行委員会は、都度議事テーマを決め、2 回／月の頻度で開催した。活動の記録は、次項 2-5『活動実績』に記す。

2-5 活動実績

2018 年 12 月から 2019 年 10 月までの間で活動をした。

- 第 1 回 キックオフ（役員選出）
- 第 2 回 活動方針について
- 第 3 回 討議テーマについて（方向性の検討）
- 第 4 回 討議テーマについて（方向性の検討）

- 第 5 回 討議テーマについて（方向性の検討）
第 6 回 討議テーマの検討（討議中テーマを「交通」にする事を議決）
第 7 回 討議テーマの検討（討議小テーマの検討）
第 8 回 討議テーマの検討（討議小テーマの検討）
第 9 回 討議テーマの検討（討議小テーマの原案決定）
第 10 回 討議テーマの検討（討議小テーマ 4 つの決定）
『協定書』調印（5 月 17 日）
第 11 回 情報提供について（情報提供者の選定）
第 12 回 情報提供について（情報提供の内容の検討）
第 13 回 情報提供について（情報提供の内容の修正）
第 14 回 情報提供について（情報提供の内容の検討）
第 15 回 情報提供について（情報提供の内容の修正）
第 16 回 情報提供について（情報提供の内容の検討）
第 17 回 情報提供について（情報提供の内容の修正）
会場設営（8 月 23 日）
『たじみ市民討議会』（1 日目）開催（8 月 24 日）
『たじみ市民討議会』（2 日目）開催（8 月 25 日）
第 18 回 提言書の策定
第 19 回 提言書の策定
第 20 回 提言書の策定
第 21 回 提言書の策定
第 22 回 提言書の策定・議決
『中間報告会』（10 月 12 日）※荒天のため中止
『提言書』提出（10 月 31 日）

3. 討議会の実施について

『たじみ市民討議会』は以下の要領で実施した。

討議会は 5～6 人の単位で 7 グループを作り、2 日で 4 テーマについて参加者同士で意見交換をする。また、テーマごとにグループ編成を行い、メンバーの入れ替えを行う。

3-1 テーマ選定について

テーマ選定にあたっては、市民の共通の関心事で市政との協働が可能なものとする
ことを意識して議論を重ねた。また、市民としてやるべきこと、できる事が明確にイ
メージでき、市政に対しては具体的な提言ができる事を念頭に置いた。

コンセプトとして『住みやすいまち たじみ』とすることとした。

10 回にわたる実行委員会を経て、多治見の魅力を再認識するとともにその魅力を

どのように生かしていくかをについて市民から幅広い意見を求め、市政に提言するために「交通インフラ」に焦点を当てた討議テーマを選定した。

- ① もし、車が使えなくなったら何に困りますか？また、どうしたらその困り事を解決できますか？
- ② どんなバスだったら乗りたくなりますか？
- ③ どんな仕組みがあればあいのりタクシーに乗りたいと思いますか？
- ④ 渋滞を無くしていくための仕組みづくりを考えてみましょう！

3-2 参加者について

参加者は多治見市で管理される『住民基本台帳』から 18 歳以上の市民を無作為に抽出して 3,000 人に『参加依頼書』を郵送し、40 人から参加の回答を得た。参加回答者のうち 3 人は当日までに事情により不参加の連絡があり、当日の参加者は 37 人であった。

3-3 謝礼について

参加者に対しては、2 日間の参加を条件に 6,000 円の『謝礼』をした。単に『謝礼』と言うだけでなく、各自の発言には責任を持って頂くという意味合いがあり事前説明で確認をした。

3-4 討議の方法

討議は次のように行った。

[グループ討議]

話し合いは、実行委員が補助係（1 人／グループ）としてサポート。進行係は参加者が行い自由な話し合いを行った。それぞれの意見は付箋に記載して、準備した模造紙に貼り付けた。

[まとめ]

話し合いの結果は「まとめ 1」「まとめ 2」「まとめ 3」として模造紙に記入して合意形成をする。「残したい意見」があれば併記する。

[発表]

まとめた意見の内容をグループごとに発表を行う。全てのグループの模造紙を一覧として張り出す。

[投票]

各グループでまとめた全グループの意見は、参加者全員が各々賛同する「まとめ」、「残したい意見」に投票する。

3-5 情報提供について

グループ討議に先立ち専門家、先進活動グループなどによる『情報提供』を行う。

『もし、車が使えなくなったら何に困りますか？また、どうしたらその困り事を解決できますか？』については、多治見市の交通事情を自分事として捉えていただく為に多治見市都市政策課の宮本賢二さんが説明した。

『どんなバスだったら乗りたくなりますか？』については、多治見市のバス事業の状況や課題点について、東農鉄道株式会社の岩井拓哉さんが説明した。

『どんな仕組みがあればあいのりタクシーに乗りたいと思いますか？』については、多治見市が推奨しているあいのりタクシーについての制度や普及状況などを多治見市都市政策課の宮本賢二さんが説明した。

『渋滞を無くしていくための仕組みづくりを考えてみましょう！』については、当たりみ本年度市民討議会実行委員会実行委員長の中村将大が説明した。

3-6 話し合いのルール

話し合いのルールとして、次のことを確認し合った。

- ・参加者は親しみを込めて「さんづけ」で呼び合う
- ・全員が発言する（発言できるよう配慮する）
- ・他の意見を全否定しない
- ・テーマについて結論を出す
- ・自由に意見を出す
- ・アイデアの実施、実行の可否にこだわらない
- ・他の意見を参考にしても良い

4. 討議会の結果と市民からの提言

討議会の結果は、模造紙に記載された「まとめ」意見を基に精査し、投票の多寡を考慮して『提言書(案)』を策定。中間報告会で参加市民の承認を得て『提言書』として次のように作成し、2019年10月31日に古川多治見市長に手渡した。



提言書提出式の様子

提言書

「Heart of Tajimi ーたじみ市民討議会 2019ー」に関する提言書

2019年8月24日、25日に開催されました「Heart of Tajimi ーたじみ市民討議会 2019ー」に於いて討議された意見を以下のとおり提言いたします。

大テーマ『“日本一住みやすいまち” たじみにするには』 中テーマ『明日の交通インフラ～さあ！みんなで考えよう』

討議テーマ1：もし、車が使えなくなったら何に困りますか？また、どうしたらその困り事を解決できますか？

交通に対する問題について、当事者意識を持ってもらう為に話し合ってもらいました。ここでの意見が討議テーマ2以降の前提となっています。多治見市民の意識・認識として参考にさせていただきたいです。

- ・もし、車が使えなくなったら何に困りますか？
 - ・買い物 ・通勤 ・送迎 ・レジャー、趣味 ・仕事 ・育児 ・介護 などに困ります。
- ・どうしたらその困り事を解決できますか？
 - ・バス ・タクシー ・徒歩 ・移動販売 ・ネット宅配 ・レンタカー ・カーシェア を利用します。

討議テーマ2：どんなバスだったら乗りたくなりますか？

市民はバスの利用率向上の為の課題を次のように考えています。

- ・最終バスの運行時刻が早いこと
- ・路線等の減少により、バス停までのアクセスが悪いこと
- ・小銭が必要であるなど、支払時に不便さを感じる事

以上をふまえ、以下の提言をします。

- 1 バス利用に対する今回の討議会で出た市民の意見を伝える為に、市民討議会のメンバーが地域公共交通会議にて意見を発言する機会を求めます。
- 2 市民が望む、バス利用の利便性向上の為の意見が実現可能かを検証する以下の社会実験の実施を提案します。
 - ・交通系 IC カードの導入
 - ・最終バスを遅くするという運行時間の見直し
 - ・路線バスのバス停へのアクセスを改善する為に、ききょうバスの運用方法を地域巡回型にする。

討議テーマ3：どんな仕組みがあればあいのりタクシーに乗りたいと思いますか？

市民は、あいのりタクシー利用にあたり乗車環境についてのトラブルへの不安を懸念しています。また、あいのりタクシーそのものが認知されていない事が課題であると思っています。それをふまえ、以下の提言をします。

1 あいのりタクシーを安心して利用できるようにする為に、以下のルールを盛り込んだガイドラインの作成を求めます。

- ・登録者と利用者が同一であることを証明する利用者カードを提示するなどの本人確認制度の導入
- ・予約時に乗降場所、乗降順が指定できる
- ・予約時に、同乗者の性別が確認できる
- ・車内に仕切りを設ける
- ・飲酒者は乗車できない など

2 あいのりタクシーの良さを伝える為に、以下のメリットを記載したPRチラシを作成し、配布する事を提案します。

- ・成功モデル当事者の声
- ・隣の校区へ行けるなどの利便性
- ・自己負担が割安などの経済的利点 など

討議テーマ4：渋滞を無くしていく為の仕組みづくりを考えてみましょう！

市民は、渋滞を無くしていく為に、思いやりのある運転をする、交通マナーを守る、など自分たちの意識を変える必要があると思っています。又、自家用車以外の移動手段を利用することも考えています。

一方では、企業誘致の際の送迎バスによる通勤制度を高く評価しています。それをふまえ、以下の提言をします。

1 企業による社員の送迎、フレックスタイム制の導入を促進する為の支援策を検討することを提案します。

2 自家用車以外で移動する事を促進する為に、公共交通機関を利用した際にポイントやクーポンなどを付与し、なんらかの形で還元する制度の創設を求めます。

2019年10月31日

たじみ市民討議会実行委員会

実行委員長 中村 将大

5. 『たじみ市民討議会 2019』の検証

～たじみ市民討議会の有用性～

今年度のテーマは「交通インフラ」であったが、当初参加申し込みが40人と市民の関心の高さが窺える。また、世代別参加者割合も各世代が均等に近い割合で参加され、多治見市民全体の関心の高さも伺えた。

市が主催する討論などの集まりに参加したことがない市民が78.4%も参加していることから、サイレントマジョリティの意見を取り上げることができていると思われる。

また参加者アンケートから、今回参加したことにより、多治見市の交通に関する課題や取り組みを初めて認識した、との声も聞かれ、市民討議会の開催意義はあったと思われる。

6. 『たじみ市民討議会』の今後の取り組み

6-1 参加者の減少

今年度の参加者は、昨年の21人から37人と増加した。これは今回の討議テーマが市民意識調査でも例年満足度ワースト1となっている事を取り上げたからだと推測される。翌年以降も市民が積極的に参加するようなテーマを取り上げていく事も必要だと思われる。

また、行政に市民の『声』として『提言』を行う討議会としては無作為抽出による参加者は、約7万人の対象者の0.05%（35人）以上の参加が望ましく、実行委員会としてSNSや広報紙、ラジオなどの媒体を最大限活用し、行政と協力してPRに注力したい。

6-2 今後の継続性について

現在、実行委員会は30人で運営されているが、ボランティアであるため入退会は任意である。

今後、この活動を継承し継続していくため、本年はアンケートで参加の意向を示していただいた方へ直接連絡し、参加要請を実施した。本年は新規入会3名と実績も出たが、他に有効な方法を考えることが必要であると考え模索していく。

6-3 事後のフォロー

参加者に対しては『中間報告会』を設けて、『提言書（案）』を提示し、承認を得て『提言書』としている。また、多治見市のホームページには逐次『提言』の内容と『提言』に対する市政の取り組みを開示して頂いている。より多くの参加者にモチベーションを維持して頂けるよう、事後フォローについて検討する。

7. 協賛者ご挨拶

まずは、本年で11回目となる市民討議会も、沢山の方に支えられ無事終了することが出来ましたことを、心より感謝申し上げます。また、ご参加いただいた市民の皆さま、またご協力いただいた関係者・関係諸団体の皆さまには、格別のご高配を賜り、誠に感謝申し上げます。

2009年から開始されたこの「たじみ市民討議会」ではありますが、現在では、市民主体の実行委員会が発足し、テーマ選定、運営に至るまで主導で行い、(一社)多治見青年会議所と多治見市役所が協力するという体制で行っています。その中で、真の市民主導によるまちづくりを考える機会を創出することで、市民が積極的に参画する仕組みを確立しつつあると考えます。我々としまでも、「明るい豊かな社会の実現」という理念のもと、「まちづくり」運動を展開している団体として、「市民の声を行政へ届ける」といった行政と市民と協働していくことは重要だと考えます。

日本は現在、人口減少に伴い少子高齢化や地方衰退など様々な課題に直面しています。我々が住み暮らすこの多治見においても今後少なからず影響が出ると予想されます。だからこそ、これまで以上にこのまちのことを考え、このまちの未来を思い描くことで、誰もが愛着を持って住むことができるまちを創造していく必要があると考えます。そのためには、市民一人ひとりの積極的な参画は必要不可欠です。今後も市民討議会の活動によって行政と市民による真の協働のまちづくりを推進されていくことを切に願います。

結びとなりますが、今後もこの「たじみ市民討議会」が継続して開催されますことを心よりご祈念を申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。



(一社)多治見青年会議所
理事長 田財千裕

8. 終わりに

今年のテーマを「交通インフラ」にした事は、私たち市民討議会実行委員会にとっては大きなチャレンジでもありました。

毎年、さまざまなテーマで討議していただいておりますが、必ずといっていい程、この「交通」や「渋滞」という言葉が聞かれました。私自身もこの多治見市で生活する一人として渋滞や交通問題については、何とかならないのか？とっていました。

ただ、「交通」や「渋滞」をテーマにする事で不安もありました。それは、交通渋滞などの問題については、行政を中心に多治見市の事業計画などで決定されているにも関わらず、いわゆる「欲しい」という意見や討議会そのものが不満を言い合うような場所になってしまわないか？という事です。

実行委員会としては、そうならない為の各テーマ設定、情報提供を心掛け当日を迎えました。

参加していただいた皆様には積極的に「自分たちには何ができるのか？」と討議していただく事ができ、本当に感謝しております。

私個人的には、この「交通インフラ」という課題を解決していく事が、単なる道路整備などではなく、さまざまな課題を同時に解決してくれると信じています。車を使わない事が、健康促進に繋がったり、近隣住民との人間関係、地域の発展などの課題解決にも大きく影響を及ぼすと考えています。

最後になりますが、本年度参加していただいた皆様、陰で支えていただきました(一社)多治見成年会議所様、多治見市役所の皆様、実行委員会のメンバーに感謝し、厚く御礼申し上げます。

本当にありがとうございました。



たじみ市民討議会実行委員会
実行委員長 中村将大

資料1. 話し合いシート

参加者を5~6人の単位で7グループを編成して、4つの討議テーマについて付箋に意見を書き出して頂き、グループの意見「まとめ」として発表して頂いた。

話し合いシートを以下に示す。

討議テーマ1.

もし、車が使えなくなったら何に困りますか？また、
どうしたらその困り事を解決できますか？

Aグループのまとめ意見

投票数

1. 買い物時の重い物や、冷蔵・冷凍の物の(持ち運びに困るので) 配達サービスを求めます。 1 3
2. バス利用には制限があるので、いろいろなバスの種類のを増やすことを求めます。例えば、公立の園に行くバス、利用者別、目的別のバス、ex 7
3. 家族の都合に合わせて使えるものがないので、利用のしやすい タクシーが増えることを求めます。 4

残したい意見

- ・循環バスがあるといい。
- ・バス停がわりになってくれる家
- ・駅から離れたところで無料の駐車場があり、駅までピストンバスがあるとよい。 5

Bグループのまとめ意見

1. 通勤に困る。解決策は公共交通機関を使いわせる。 0
2. 病院等緊急性の高い用事。解決策はタクシーを使用する。 0
3. 買い物に困る。解決策はあいのりタクシーを使用する。 0

残したい意見

- ・宝くじに当たる！ 8

Cグループのまとめ意見

1. 買い物、送迎(病院、習い事)が困ります。移動販売・ネット販売・スーパーの宅配サービスを利用する。

バス、タクシーを利用する。(チケット等の補助金制度)

6

2. 通勤が困ります。

- ・会社から送迎バス、車を出してもらう・
- ・在宅ワーク、会社を変える。
- ・自転車、徒歩にする。 1

3. レジャー。趣味が困ります。

- ・レンタカー、カーシェアリングを利用する。
- ・公共交通機関を利用する。(子ども。高齢者対象) 1

残したい意見

- ・便利な場所に住んでいるので、生活には困っていない。
- ・駅近辺のマンションに住む 2

Dグループのまとめ意見

1. 生活上の支障が生じる。

(例) 病院/役所の手続き/仕事と育児インターンシップ /買い物/介護

↓

<解決策>

公共交通、タクシーを利用する / 家族に頼る / 商業・医療・各種 サービスを集中させる 7

2. ストレスの多い生活を送ることになる。

(例) 公共交通機関利用になり、時間が拘束される / 天候(雨・暑さ)の影響を受ける 子連れでのバス・電車利用が大変(ベビーカー) / 引きこもりがちになる

↓

<解決策>

夜間・早朝の料金を割り増しし、バスの本数を増やす / カーシェアリングを活用する介護環境の見直し 1 0

3. 自動車産業全般の雇用が無くなり、失業者が増える。

(例) 下請け業者、カーディラー

↓

<解決策>

公共交通機関、デリバリーサービスの充実障がい者スポーツでの開催

- ・誘致 0

残したい意見

- ・地下鉄があつたらいい。
- ・空を利用した新しい交通機関を誘致。 1 1

E グループのまとめ意見

1. 車がなくなったときに他の交通手段がない。
バス路線を増やす、バスの数を増やす、利便性
3
2. バスの利用者が少ないため認知されていない。
公共交通利用を増やすためのイベントを実施
(1 Dayパスポート、小中校で周知、理解できる活動、スタンプラリー)
1
7
3. 高齢者の生活と医療に向けた仕組みづくり
(街中に高齢者用アパート、高齢者タクシーなど)無料、格安で
6

残したい意見

- ・最終バスが早い、家からバス停が遠い、
集団での移動が困難
環状線に市をめぐるバスがほしい
1 2

F グループのまとめ意見

1. 困る事 ・荷物を運べない ・引きこもりになる ・
移動に時間がかかる
・車を使う仕事ができない ・買い物に行けない ・
お金がかかる
・出勤に困る ・病院にいけない ・習い事に行けな
い
・旅行(ドライブ)に行けない。
↓
生活ができなくなる!!
0
2. ・バスやのりあいタクシーの本数を多くする ・土日
も200円バスがほしい
・東鉄も100円にしてほしい ・スマホ決済、タクシ
ーチケットがほしい
・家の前までむかえに来てほしい ・タクシー運賃の
上限がほしい。
・小人口地域へのあいのりタクシーの運行 ・ききよ
うバスの小型化(本数、路線の増加)
・ききょうバスの時間をわかりやすく ・電車バスを
使う ・バス路線の復活
・バスが家の前まで来てほしい ・遅くまで運行して
ほしい

↓
公共交通機関の整備
7

3. ・家族やボランティアでのたすけあい ・ポアンティ

アで車を出す(若い子のアルバイトにする。・重い
物を届けてくれる店がほしい(スーパー等)

↓

たすけあい
8

残したい意見

- ・自分をきたえて死ぬまで歩けるように!!
(スポーツジムを無料開放する)
1 5

G グループのまとめ意見

1. 若い世代: 育児・介護で車が必要
シニア : 困らないかも。緊急時は困る!!
5
2. 都市計画を計画性をもってやってほしい。
・住宅計画(安いもの市営等)
・道路計画
6
3. ITを活用する
・レンタカー
・ネット宅配
・アプリ
・カーシェア
9

残したい意見

- ・今の交通機関は不足している。
複雑すぎ調べても分からない。
5

A グループで出た意見(付箋)

まとめ1

- 沢山の買い物にこまる
- 冷蔵・冷凍の物を持って帰るのが大変
- 遠方の買い物行きにくい
- 行ける所にかぎりがある
- 子供をつれて荷物を持っては大変
- 全ての外出事(買い物・医療・旅行等)
- 買い物が出来なくなる 公共に行きづらくなる 仕事
に行きにくくなる
- 動く範囲が狭くなり引きこもりがちになる。
- 重い荷物が運べない。重い荷物が運べなくなる
- 買い物が少ししかできない
- 利用しようする所に駐車場が十分(充分)無いと困る
人(客人)の送迎が出来なくなる
- 平和町にはバス停がないので大変不便。
- 車が無いと買い物をしても歩いたり、自転車では少し
しか買えない。
- 市内循環バスを200円では走らせる。

まとめ1 解決策

配達サービスが増えてほしい

まとめ2

バス停留場の整備。雨・風・気温対策

バス停がどこに有るかわからない。目的地に行くバス停が分かりにくい

公共機関には限りがあるので自分に合った方法を考える。

バスを待つための施設がない

バス停が無い所がある

今の状態ではバス本数が少なすぎてバスを使うことが不便になる

移動ができない チャリを使う道路の整備をしてくれたら（主に坂道をゆったり登れる道の設置

自動車の運転補助設備に対する補助金

家の近くにバスが通っていない

まとめ2 解決策

バス停を増やす

循環バスがあるといい

駅から離れた所で無料の駐車場があり駅までピストンバスが有るとよい

電動自転車に補助金がほしい

バス停に自転車置き場がほしい

目的地のバス停が分かりやすくするためにネットやチラシなどで分かるとうい

公立の園（保育 幼稚園）に送迎バスほしい

目的地別バスがあるといい

バス停がわりになってくれる家をさがす。まちあいの家、運転手さんが呼びに行くなど

まとめ3

家族の送迎ができない

子どもが2人いるので保育園の送り迎え。通勤。かいもの。病院

体の不自由な家族をつれて出掛けにくい

一つの用事の時間がかかりすぎる

都合のよい時間に出かけられない

天候に左右されて出掛けにくい

まとめ3 解決策

ファミサポの広い普及、年齢をとわず

要支援がないとデイサービスが使えないので広い範囲で使えるように、又べつの方法でも

子どもがいたり荷物多いと気をつかうのでママ専用バス、女性専用バスなど（高齢者専用 etc）

利用しやすいタクシーが増えるとよい

B グループで出た意見（付箋）

通勤

仕事への出勤に困る。 毎日の出勤にこまる

通勤に困る。残業で遅くなった時に、暗い中帰らなきゃいけない、物騒

雨の日の外出

出かける時におっくうになる。たぶん家から簡単に出なくなる

幼稚園に通園する手段がなくなる

仕事に使うので仕事が出来ない。

会社で必要な書類が取りに行けず、仕事ができなくなる

病院

歯医者に行けない。歩いていくには遠すぎる

体調が悪い人を病院に連れていくなど（けがとか）

忘れ物など急な用事

いそぎの用事、命

定期的に行くところ

買い物

買い物（食料品）の買い出しに行けない

荷物がある時の移動手段

大きな荷物の搬入時の搬送手段がない

荷物ふえる

買い物に困る

夜のおでかけができない

夜道が不安

夜間の移動

公共交通機関までの足がなくなる

旅行

長距離移動

行きたい所にすぐに行けない

外食

コミュニケーションが不足してくる

友人、両親の顔をみる（人と会う）

公共機関

自転車、歩く

タクシー

バス

カーシェアリング

あいのりタクシー

救急車

代行タクシー
近所の人に乗せてってもらう（仲よくする）
同僚、知人、友人
近くに引っ越す
自宅勤務
会社にバス又はハイヤー送迎してもらう
転職する
ネットショッピング
生協共同購入
お金がかかる
待ち時間がかかる

C グループで出た意見（付箋）

仕事、仕事の通勤



会社から送迎バス、車を出してもらう。
在宅ワークにしてもらう。
自転車を使う。
会社を変える。

買い物、特に重たい物、大きい物。

病院

子供の習い事

送迎



移動販売車を利用
ネット販売を利用
スーパーの宅配サービス利用
バス、タクシー利用
免許返納時にタクシーチケットを引きかえ。
（塾）習い事のバスを利用
タクシーチケット習い事1つで1枚？年収によって上限あり。
あいのりタクシー利用。

遠出

趣味



レンタカー

シェアカー

公共交通機関

遠出の時 補助金制度（子供、高齢者）対象

便利な場所に住んでいるので生活には困らない



駅前のマンションに住む

D グループで出た意見（付箋）

まとめ1

日常雑貨が手にいれられない
買い物難民になる
買物、仕事、介護（病院）等に行くことが困難となります。

インターンシップに行けなくなる。
仕事と育児のやりくりが難しくなる
役所の手続きをしにくくなる
病院に緊急時行けなくなる。

家族にたよる



タクシーを呼ぶ
公共交通機関（バス）やタクシーを利用することになる。
商業・医療、各種サービスを集中させる
緊急時は救急車

まとめ2

観光地やカフェに行けなくなる
旅行に行けなくなる
土日休日の最終バスが早い！
公共交通機関を利用することが多くなって、時間を気にしながら生活することになる。

雨の日は外出しなくなる

暑くてバス停まで子連れで歩けない

車が使えなくなったら高齢者だけの世帯の生活が成り立たなくなる

車に慣れた人が途中からバスを利用するのは抵抗がある人が多いと思われる。

車に慣れすぎてしまって、今の私だとほぼ100%行動できない、とじこもりになります。

ベビーカーを乗せるのが大変



夜間、早朝料金を割増してバス本数を増やす
シェアリングを活用する、もっと発展させる

まとめ3

自動車産業の雇用が無くなり、失業者が増える。



公共交通機関とデリバリーサービスの充実。 →雇用の増加

地下鉄がない

E グループで出た意見 (付箋)

まとめ1

通勤手段 ・ 時間 ・ 利便性

最終バスが早い

買物 ・ 量 ・ 時間 ・ 頻度

生活環境の充実 ・ 日常の買い物 ・ 病院

利用しやすい したくなる仕組み作り

公共交通利用 ・ 自転車 ・ 徒歩

集団での移動が困難。運賃がかさむため。

買い物・子供の送り迎え・病院に行くとき、どこにも行けない

家からバス停が遠い、小名田町7丁目団地下にバス停があると良い

バス内に荷物置場 (大きな物)

バス停までの距離が遠い、近くのバス停では本数が少ない

名古屋市のよう6.5歳以上のバス乗車券が有れば良い。1,000円・3,000円・5,000円

公共交通定期利用者への支援。

タクシー割引など定期券購入促進

まとめ2

公共交通を周知・イベント実施など ・ 地域ごと ・ 知り合いを誘う

メリットを高める ・ 1Dayパスポート ・ ファミリー向け (休日)

小中学校で周知・理解できる活動

スタンプラリー

まとめ3, etc

老人用アパートを街中に作る (安く)

医療用タクシーがあると良い

高齢者用無料タクシー

免許返納をしたら医者に行けない買い物に行けない

医者行く時、バスが環状線に丸く市をめぐってほしい

第一病院・アルママータ等の病院に行きたい

F グループで出た意見 (付箋)

荷物を運べない

引きこもりになる

お金がかかる

病院への通院に困る

気楽に子供に送迎を頼めない

重い物を届けてくれる店 (重い物が運べない)

生活ができなくなる。

旅行 (ドライブ)

出勤に困る

ききょうバス等の時間をわかりやすく

時間短縮 (時間がかかる)

移動!

車を使う仕事なので仕事ができない。

習い事に通えなくなる。

ききょうバスの小型化して路線拡大 (東鉄バスが通っていない区域)

バスとかタクシーのカード決済

少人口地域へのあいのりタクシーの運行

タクシー運賃の上限がある。

タクシーのチケットがほしい。

家の前までむかえに来てくれる

電車・バスを使う

バスが家の前まで来てくれたら助かる

車で移動しているので行けなくなる

買い物に困ります。

バスの運行間隔を1時間に1本分増やす

週1回のタクシーは利用できない

バスやタクシーの本数が重要 1時間に3本は必要

土日でも200円バスがほしい。

スマホで決済

東鉄バスも100円に

駅前にスーパーがあるといい

病院を駅近くに

みんな集まって住めば移動も少なくてすむ

ボランティアタクシー制度の検討

バス亭や駅まで送ってくれると助かる

1200万円の支援の使い方は正しいか?

交通事故が少なくなる。

何万歩歩くと賞品がもらえる

ボランティア登録しタクシーのようにつれていく

バスの運行時間が早くおわる遅くまで運行してほしい

バス路線の復活

ネット通販

スーパーがシャトルバスを出す (1時間に1本くらい)

買い物に行って荷物を宅配してくれる。

家族でのフォローが必要

ご近所のつながり

市民が多治見市に登録して車を出して下さり、使用後に報酬をいただく

重い物を届けてくれる店

若い世代が車を運転する手配の方を送る（コミュニケーションの場）

スポーツジムを無料にする

死ぬまで歩ける様に足をきたえる

G グループで出た意見（付箋）

困

急な買い物の際は困る

介護する為に車は必要

子どもの送迎で困る

老いた時に車が使えなくなったら子供に負担をかけてしまう

やる事が多い

緊急性 すぐの時

年代によって困らない 若→困る シニア→困らない？

困

レジャーに行けない

釣り アウトドア

レンタカー

駅前にレンタカー カーシェア

解

自転車も危ない道が多い

自転車をかつよう。

どのくらいの距離まで歩くか？

解

ネットスーパー活用で困らない

スマホ配車アプリ

市営住宅を駅近くに作って欲しい

プロモ不足？

会社から帰れない

公共交通機関の本数が多くないと困る

バスの路線が分かりづらい

公共の交通機関に頼ってしまう。

わかりづらい

市街地へ、転居 交通の利便性など。

医療機関とのタイアップで安い運賃

討議テーマ 2.

どんなバスだったら乗りたくなりますか？

A グループのまとめ意見

得票数

得票数

1. 乗る機会の開拓！

飲めるイベントバス、幼稚園、保育園を巻き込む。 9

2. 車両の付加価値を高める！！

社内設備（キッズスペース、フリードリンク、充電）
外装（園児がバスをデコレーション） 7

3. サービスの向上、利便性！！

1日乗り放題、カード決済、スマホ決済 5

・残したい意見

地域を巻き込み。さらにアイデアを出してもらう。 5

B グループのまとめ意見

1. バス停までのアクセスがしやすい環境づくり

（家の近くにバスがくる、バス停の待機所の充実、
バス停に駐輪所がある、ETC 11

2. 自由度があるバス

（年間フリーパス、ママ専用バス、プライベート専用バス e t c 5

3. メリットが伝わるようなPR活動

（イベントバスの運行、まずはみなさんに知ってもらう） 7

・残したい意見

外観より利便性

自転車や荷物が置けるスペースがあるバス 6

C グループのまとめ意見

1. 無い路線は乗れないぞ！（空白地帯の解消） 3

2. ダイヤを便利に！（終バス、ダイヤ間隔） 7

3. ステキなバスを！

（アーティストによるインスレーション、井上陽水の世界等） 5

・残したい意見

地球環境に貢献を！

ICカードの利用 8

D グループのまとめ意見

1. バスの決済の簡素化（クレカ、スマホ、などのIT

化、両替時のおつり 8

2. バス停、バスの整備
外国語アナウンス、USB、wifi完備、車いすの貸し出し、チャイルドシート、乗車するときの階段を増やす 8
 3. 世代別のニーズに合わせたバス停、路線、運行の見直し（最終バスが遅い） 8
- ・残したい意見
- バスのコー上に立って手を上げたら止まってもらえるようにしてください。多治見ICに止まる高速バスに合わせた路線バスの運行 9

Eグループのまとめ意見

1. 料金一律・低料金で小回りのきくバス
循環バス、バスの本数を増やす 7
 2. 孫と楽しめる季節毎のイベントバス
運転手がコンシェルジュ的な対応をする 7
 3. 将来への投資（ICカード、web環境の整備、冷蔵庫のあるバス） 6
- ・残したい意見
- 困ったとき、相談できる拠点があると良い
通勤の為の手当て、チケット、助成金を出す。
雪の降る日はバスがいっぱいになるので、潜在的な利用者はいると考えられる 6

Fグループのまとめ意見

1. バスが乗りにくい→バス車体の改良
（入口が広い、低床のバス、椅子の間隔が広い
ロングシート、支払いにICカード） 5
 2. バスが利用したい→バスを利用する環境の整備
（アプリで他路線との接続が分かると良いバス停を
明るく、雨よけ、駐輪場など使いやすく） 4
 3. バス停まで遠い→ボランティアなどを整備し、助け
合い補助する。
（家からバス停まで遠く、地域まで小回りのきくバス
荷物を運ぶには高齢者は大変） 4
- ・残したい意見
- 付加価値のあるバス（食事をしたり、風景が楽しめるバス） 2

Gグループのまとめ意見

1. バス停が遠かったり本数が少ない為、利用しない人が現状です。

- 10分以内にバス停があれば良い。朝と夕方に通勤、通学時間帯に10分間隔にあると利用が増えると思います。 10
2. バスに乗りたくない理由として、運行状況によって乗りたいバスが解らなくなる。
路線が複雑だから、簡単にアプリですぐ運行状況を知りたい。 4
 3. バス代が高い。毎日乗ると家計の負担になる。
1回乗る人よりも定期券や回数券を安くしたら利用者が増えるかも。
トイカとマナカが使えるとよい。 4

・残したい意見

- 土日のききょうバスの運行を周知する。
子どもが利用する施設を回るルートがあると良い。
（まなびパークや図書館などがあれば夏休みに利用する）
フリーパスがあると、観光地の割引があると良い。 9

Aグループで出た意見（付箋）

乗る動機

- クーポン、イベント、途中下車したくなる
地域を巻き込む
労働力やアイデア、キカク
スタンプラリー、御朱印めぐり、ドライバーとジャンケンで割引
あたり付き乗車券
ドライバーさんが働きたいと思える環境づくり⇒モチベーションUP!
ドライバーさんが自分の個性を存分に出せる！！
バスの洗車 愛着（幼稚園、保育園）
専門家が乗っている（教えてくれる）
バスの中に売り子がいる
おばあちゃんバス しゃべる為
HAPPY NEW YEAR など年越しイベント（アルコールなど）

飲めるイベントバス

アマゾンバス 乗ってみたい企業バスのシェア

車内

- マッサージチェア付き
◎フリードリンク 熱中症対策
多機能バス 行政サービス 充電
WIFI
充電できるバス

◎キッズスペース

利便性

スマホ決済 カード決済

1日乗り放題

ぎふっこカードで無料

バス停 駐車場 駐輪場 パークアンドライド

外装

美濃焼で作ったバス

幼稚園、保育園にそれぞれの路線とか

バスを幼稚園、保育園が色をぬる

幸福駅等（行先）の表示

Bグループで出た意見（付箋）

バス停の待機所の充実（雨、風、気温 防げる場所）

朝、夜は大きいバスでもいいが昼の時間は小さいバスで
本数を増やすかあいている

スペースで荷物を置けるなど

バス停に駐輪場がある。

小さいバスでもいいから団地の中をグルグル走ってもら
ってだれでも使えるように

家の近くにバスが来たら乗りたい（うるさかったり家の
中が見えるのでいやな人いるかも）

プライベート使用バス 運転手つきレンタルバス

専用バスがあったら乗りたい ママ専用 高齢者専用

etc

深夜バス

バスの年間フリーパス導入！！

周遊キップ

65才以上5000円で年間のフリーパスなど 名古屋はし
ているのでフリーパス制度があるといい

子供は乗り物が好き 子供がのったらキャラクターがも
らえるイベント。

「飲んだらバス」 音羽町、宝町など時間によって増便。

花火等のイベント時にバスで行ったら割引戻る

通勤←マイカー コストの比較をしてPR行動

通院バス、タクシーよりメリットが出せる方法

外観 外観より利便性！！

自転車か ベビーカーなど乗せれるバス スペースがあ
るバス

Cグループで出た意見（付箋）

①

終バスが早すぎる（一部の路線）

バスダイヤの明かく

最終便を遅くして欲しい

路線間のダイヤが不公平すぎる（いくら黒字といつて
も）

夜遅くまで運行してしる

ダイヤが不便・2時間近く間隔が空くなど耐えられない

②

路線が分からないので利用できない。バス停で全路線
が分る様に！

乗りたくなった時に連絡したら乗れるバス（バス停）

ある程度何処でも乗れる、降りれるバス

公共交通機関の空白地域の解消

無い路線は乗れないぞ

金額が安価で一律

③ゆめのバス

アーティストによるインスタレーションをバスで行う
（コンテストにしてもよい）

（若手アーティスト対象）

ステキなバス 井上陽水のうたに出てくる。

土岐アウトレット行シャトルバス

体の不自由な方の乗り降りしやすいバス。

車内がキレイなバス（清掃）

自宅からカートでバス停まで行きカートごとバスに乗
る

席にすわれる（立たなくてもよい）

④

地球環境保護に貢献できる（CO2削減）

ICカードが使えるようになる。

マナカ、トイカ ETC利用できる

Dグループで出た意見（付箋）

路線を多く

第一病院、アルママータに行けるバス

イベントに合わせてでもよいので一日乗車券がると良い
最終バスが早い

ききょうバスが小名田まで来てほしい

家の近くのバス停に新宿行きのバスが止まるようにして
ほしい

遅くまで運行しているバス

新宿行きのバス 旭ヶ丘10丁目バス停の復活してほしい

市之倉ハイランド線に多治見市平和町、体育館、昭和小学
校付近にバス停が欲しい

市内内回り、外回り路線
バス停が欲しい(路線バス、ききょうバスも止まらない)
若い人と老人のバス利用時間が違う。路線廃止ではなく
ニーズにあった運行を
東栄町バス停が欲しい
バスを小型にして狭い道を通る
東京のタクシーのように手を上げたら乗れるバス

車いすの人も乗れるバス
早朝から深夜まで 喫茶店営業 バス待ち
名鉄観光バスに乗るとポイント制でいっぱいになると割引になるなど、お客さんが喜ぶサービス
観光バスの車いす無料貸し出しサービス(ツアー参加者のみ、他は有料)
幼・学校などの運動会イベント、近くのスーパーと提携してシャトルバスを出してほしい
観光バスの駐車場
チャイルドシート
掃除の行き届いたキレイなバス
多治見 I C の止まる車庫バスに合わせた路線バスの運行
免許証返納したら半額になるのを 早く実現させてほしい
バス停が欲しい(路線バス、ききょうバスも止まらない)
のラッピング好きじゃない
外国語のアナウンス
バス停に駐輪場
バスに乗車するときの階段を広くしてほしい

クレカ決済、スマホ決済、大阪ピタパのような自動割引
ペイ決済
バス停に屋根、レンタル傘
バス停の近くにコインパーキング
ききょうバスが手を上げたら止まってくれるバスにしてほしい
USB充電、Wi f i 完備
200円バスをもっとアピールしてほしい
お金を支払うとき、両替ではなくおつりができるようにしてほしい
観光地と提携してバス主催のおとくスタンプラリー
中央ライナーの本数を増やしてほしい
高速バスと連携して高速 I C までのバスを出す、多治見 I C コインパーキングが欲しい

多治見駅のバス乗り場案内で行先のバス乗り場までの案内が欲しい

E グループで出た意見 (付箋)

各イベントごとに飾り付けのあるバス
運転手がお手伝いしてくれる(物理、情報)
融通のきくバス
孫と一緒に乗りたい楽しいバス
雰囲気が良いバス
地域巡回バス(週一回)
みんなで好きなところに行けるバス
敬老会バス
地域の情報が教えてもらえるバス

低料金のバス
一律の料金、一日乗車券
直通のバス
小回りのきくバス
目的地まで時間のかからないバス
ダイヤが多い
ダイヤ通りに来るバス
循環バス。子供が楽しめる

先の投資の為に将来性の事にお金を使ってほしい
1枚ですむ IC カードが使える
Web の情報が見やすい
お買い物用に冷蔵庫のあるバス

困ったときの地域の拠点があるとよい
何でも教えてくれる
バス手当がある
雪の降る日はバスがいっぱいになる

F グループで出た意見 (付箋)

車のほうが便利、乗り降りが大変、子どもがいるとさわぐから乗りにくい、時間が安定しない
お金を払うとき小銭が手間、高速バスは朝満員だと乗れない、キャリーケースを持つお客さんが多い
バス停までが遠い、時間や路線がわかりにくい、税金を倍出す時にどれくらいの人が払えるか
時間がある人にとっては一度に行く事ができるため魅力である、車は高額である
自宅の近くまで来てくれるバス

夜、明るいなどバス停を整備する
アプリで見られる
ききょうバスと東鉄バスと一緒に見られる時刻表が
バス専用道路
時間通りに来るバス（渋滞時の専用道路・路線、サイレン）

乗りやすさ・使いやすさの整備
一口の広いバス（大きな荷物を持って乗り降り）
ICカード
低床
椅子の感覚が広い
前半分がロングシートバス

会員性バス（月額バス）
マイクロバスで駅に行く仕組み
地域ごとに小回りのきくバス
太多線の駅と駅間に距離がある

付加価値のあるバス
食事、風景

Gグループで出た意見（付箋）

バスの遅れが少ない
家の近くにバス停があれば利用する
土日のききょうバスを運行させる
ききょうバスの運行を周知させる（HPなどで）
10分以内にバス停があればよい
JRの最終電車に合わせたバスの運行
バス停ごとの距離をせばめる
運行時間が多くなればよい
駅に駐車場を確保するより思えば使いやすいバスがあれば来る 車も自転車も
10分以内にバス停があればよい時間に
路線数が複雑→簡単に
乗りたい車がどれなのかわからなくなる
1時間に1本あればよい 通勤時間帯に
子どもが利用する施設を回るルートがあると良い
観光地めぐりのバスがあると良い
ウーキーバスがあると良い
土日祝限定の年間パスポートがあると良い
観光地の割引があると良い

東鉄、ききょうバスを同じフリーバス

アプリ開発
運行状況をリアルタイムに知りたい
バスの行状態がアプリで分かると良い

バス代が高い 経済的負担がかかる

無料バス
定期券、回数券を安くしてほしい
トイカ、マナカが使えると良い

討議テーマ 3.

どんな仕組みがあればあいのりタクシーの乗りたいと思いますか？

A グループのまとめ意見

得票数

1. 運用単位を見直す（班、町内） 6
2. 予約方法を見直す（Web、前日を当日に） 2
3. 制度を取りまとめる組織が必要（町内の事情により異なる） 2

・残したい意見

タクシー料金より安い！！
これから広めよう！！

B グループのまとめ意見

1. 簡単なシステムにしてほしい（誰にでも理解できる仕組みの構築） 12
2. 情報発信、PR
説明会の実施（PTAの集まり、成功モデルの当事者の声）
担当者が実際の説明会に参加 8
3. サービスの改善（利用シーンの提案（部活・習い事）、いつでも乗って良い など） 6

C グループのまとめ意見

1. PRの為に一度全自治会「あいのりタクシー」に参加する。
「あいのりタクシー」の名が広まっていないので認知を進めて利用者を増やす。 10

2. ミニバスのような定期運行便を作る (バスが不便な地域) 9

現在よりも、より気軽に利用してもらえるようにする。 8

3. 「あいのりタクシー」ではなく、「おたすけタクシー」に名前を変更する
一人で乗っても罪悪感が無く乗れ、高齢者・妊婦さん・共働きの家庭の 子どもの移動手段として使ってもらおう。 9

・残したい意見

「あいのりタクシー」用のアプリを開発して運用する。
現在の状況の把握や、タクシー利用法の簡素化につなげる 4

Dグループのまとめ意見

1. 見える化。どこに誰が行くかが簡単にわかるアプリ
一家に一台タブレットを提供し、予約や他の多治見市の情報なども
わかるようにする
高齢者も使えるよう、簡単だと良い (安否確認も可) 1 3

2. 自由度。学校や習い事の送迎や貸し切りでの予約。
帰宅時に帰る方向が分かって集まれるようにする。 4

3. 割引。学割や遠くの人への割引。買い物金額によって
買い物先が
割引を与える。 4

・残したい意見

「あいのりタクシー」を知らなかった
市之倉「よぶくるバス」のようにしてほしい
女性専用タクシー
隣の人との仕切り
社内に冷蔵庫

Eグループのまとめ意見

1. アプリ等で予約ができる
夜のあいのりタクシーがあればよい。(終バス・飲み)
2. 高齢者のコミュニケーションの為に、お茶を飲みに行くときに
使用できればよい (孤独死を防ぐ) 8

3. 学生の部活の送迎に利用する事ができれば良い。 1 0

・残したい意見

・仕組みがわからない。限定的すぎる。 2

Fグループのまとめ意見

1. 問題は「あいのりタクシー」を知らない
ありとあらゆる手段を使い伝える 8

2. 安心・安全な「あいのりタクシー」
個人情報、介護資格、保険・保障等 1

3. 個人のニーズに合わせた簡単な仕組み作り
登録、申し込みを簡略化 7

・残したい意見

ドライバーが小栗旬、または美女 9

Gグループのまとめ意見

1. 概要がよくわからない
PRして欲しい
1枚のリーフレットを作ってほしい 8

2. 利用状況がわからない
・他の利用者の利用状況がわかるシステム作り
・電話での状況確認ができる (相談に乗ってくれる)
9
・予約状況が確認できるシステム (WEB、メール等) 8

3. サービス向上
家族割も設定
往復運行
金曜の深夜枠の設定
女性専用の車両を作る (行先限定はない) 1 1

・残したい意見

乗客の評価 (過去に乗った良くない客等の評価を入れて
選択余地を与える
複数回乗ったら景品がもらえる 6

Aグループで出た意見 (付箋)

1

◎利便性を考えて班、町、区を使い分ける
事故等を考えると「あいのりタクシー」が安心
夫婦で利用するのも便利
個人負担は地域により異なる
地域によって乗合カーを行っている(34区)
月1回程集まる町内は利用しやすい

2

◎地域の運営ルールによる
◎自前予約制による為、運用を考える
居住する地域が参加していない
前日予約となると難しい事もある
あいのり調整が難しいかも
隣の学区に行けるのは便利
Web予約は届かない地域がある

3

制度を取りまとめる組織が必要

タクシーより料金が安い
町内の事情が、かなり差位がある
町内の事情が以前とかなり違ってきている
財産区を持っている地域は利用しやすい
町内会費の出費が大きい

Bグループで出た意見 (付箋)

区長も制度を説明できない
もっと説明が必要
知ってもらうこと
この制度の価値と必要性を理解してもらう
町内で説明を区長、町内会長ではなく市民へ直接話す。
利用の提案を説明する
利用したメリットをアピール
PTAで利用説明があるといい
説明会の開催 担当者が来る
成功モデル当事者の声

マッチングサービス
楽しいタクシーBGM
いつ乗ってもいいタクシー
せんもん的なタクシーになるといい
部活 習いごと支援
利用シーンを考える 飲みに行く

介護タクシーの方がよい 補助など
高齢者のニーズが高い
プライバシーが守られる
とりまとめやくがあるといい

子供が使うためにかんたんに
複雑
目的がしっかりしていて理解してもらえる
簡単にしてほしい
あいのりタクシーシステム自体がブレーキになっている
枠組みをもっと自由に
地域の負担をなくしたい
負担が平等
気軽に乗れるといい

Cグループで出た意見 (付箋)

利用目的

町内の老人などで集まってお茶に行く日を月1回とか
決めて「あいのりタクシー」を使う
妊婦さん?バスに乗りにくい
一人で乗っても罪悪感が無い
高齢者の方のイベントの開催
近所の人と一緒に飲みに行く
地区ごとの運用にまかす

「あいのり」ではなく「おたすけタクシー」などの名前

町内の人と知り合う良い機会

免許返納に有効

区費、町内会費を自分が使ってしまうという遠慮⇒必要な(基本的な人権)

共働き家庭の中高生の塾の送迎

運行方法

バス停から自宅まで使えたら良いと思う

時間が大体決まっている

30分単位で考えて予約する仕組み

定額制を導入(所得に応じて)

自治会が行先、時間など取り纏めて運行を割り振る(2週間単位くらいで)

乗車率が高いほど自己負担が安い。例えば一人だと500円、4人だと200円

ミニバスみたいな使い方

毎日運行する

タクシーチケットが欲しい

ネット利用
電話でもアプリでもOK
行先と時間を入れるとバスの時刻表や相乗り状況が確認できる。アプリがあるとステキ
アプリを多治見市が開発、配布

PR不足

全ての自治会に「あいのりタクシー」に入ってもらわないと広まらない

あいのり認知を広める。PRを町内会レベルで行う
全く知らなかった。イメージなし
そもそも「あいのりタクシー」の定義が分からない
一部の住民が家の利用になるのでは……
「回覧板」を良く見ないとわからない

Dグループで出た意見（付箋）

女性専用タクシー

隣の人と仕切りのようなものがあればうれしい
車内に冷蔵庫があると良い

送迎してくれるタクシー(習い事)

仕事中に子供だけを塾の送り迎えをすると安心
学校に保護者が行事用に使えるタクシー
TELしたらすぐ来るタクシー
一人でも利用できる
町内会の人しか使えないのは不便
町内会に入っていない人も利用できると嬉しい
遅くの帰りに相乗り利用できる
雨の日
時間を決めて駅などから各方面へ帰ると集まりやすい
帰宅時に帰る方向が分かって集まれる。まとめて走行
貸切で遠出できる
時間での貸切

買い物金額によって買い物先が割引を与える

高価。市価の30%安
買い物先のバローがタクシー手配する
駅遠くの人の割引率を上げる
回送のタクシー(帰り)は割引
学割

タブレット無償提供(一家に一台)

簡単タブレットで高齢者も楽々予約ができる

タブレットで多治見市の他の情報もGetできる。(安否確認も)

どこに誰が行くかを一目見てわかるアプリがあれば良い

「あいのりタクシー」を知らなかった
市之倉にある「よぶくるバス」みたいにして欲しい

Eグループで出た意見（付箋）

①

アプリで予約できる夜の「あいのりタクシー」があれば良い
アプリで決める事ができる
夜に固定便の「あいのりタクシー」に乗りたい

②

(地域コミュニケーションのために) お年寄り人数を集めて(4人以上)お茶を飲みに行く

市内どこでも行ければ「あいのりタクシー」に乗りたい

(高齢者の孤独死を防ぐために)お茶を飲みに行く

③

部活の送迎に利用することができる
部活の送迎に活用
お子さん達の部活に活用できる

④

仕組みがイマイチ、理解できない。わかりやすい仕組みになれば使いたい

運用の制限が多い。制限緩和を!

隣接する小学校区の範囲が分からない

公共交通の空白町内会から利用資格なくして、市内全域の移動が自由であれば乗りたい

「あいのり」の年齢・性別をある程度揃えて欲しい

区、地域で連動して同じルート上ならば一緒に乗ることができる

運用団体ごとの規約を教えて欲しい

学校区が分からない

75歳以上使用ですが、介助する人は乗れませんか

内容が難しい

地域での範囲の差が大きい。(姫)とか

Fグループで出た意見（付箋）

①

知らない

周知して認識を高める
若い人も使えるようにしたら良い
赤坂の件は、制度が広まる前に諦めすぎ。もう少し様子を見た方が良い。最低3年
誰もが利用して良いとアナウンス
市がやっていることを知らない人が多い。町内、区でやっていることも

同じ目的地や趣味等、共有する人は利用しやすい
老人や若い人、体に支障がある人たちも利用しやすい
高齢者が免許返納しやすい
駐車場や人員不足にかいしまちにもない
一部だけの人の利用ではクレームが出るのでは
どの役の人がタクシー会社に依頼すれば良いのか分からない

使用しない
町内・区でも健常者は自分で行く事が出来るが免許を返納した人や老人、体に支障のある人は利用する
「あいのりタクシー」を知らなかった
行先と同じ目的の人となら誘っていきける
「あいのりタクシー」で往復すれば駐車場も使わなくて済む

町内でやると、役員以外使いにくい

②

個人情報漏らさないで欲しい
個室感、いいかも？仕切り
しっかりした保険、保証を付けて欲しい
親しくない方と相乗りするのは抵抗感がある
介護資格を持っている

③

多治見市住民、親戚、在勤者も使える
カード(電子決済)使える
利用者が限定されていて使いづらい
利用者を限定しないで、誰でも使えると良い
アプリで申し込める
仕組みをわかりやすく
一人で申し込める
市街は自己負担で。行けるところまで相乗りで行けると良い
区の垣根を越えて道路が重なれば相乗りしたい。(多治見市が負担が良い)
中で冷えたアルコールを売っている
飲んだ夜の帰り
区で運営、必要なくなったら返却

業務委託の提携すれば良い
タクシー乗り場方面別。相乗りできると良い
予約なしで使える

④

無料なら乗りやすい
ドライバーが小栗旬

Gグループで出た意見 (付箋)

1枚のリーフレットにして！
ルールをもっと明確にして欲しい。わかりづらい。
概要が欲しい
概要がよくわからない。利用の仕方、運賃等を教えて欲しい
まず、PRしてほしい
まず、存在を皆に知られることで使いたいと思わせる
WEBサイトを開設
予約状況。WEB・メール配信
電話での状況。オペレータ(相談に乗ってくれる)
リアルタイムで予約を申請できる
他の利用者予約状況が分かるシステム

家族単位を設けて欲しい
往復運行にして欲しい
乗客の評価制度 (NG客の除外制度)
女性専用車両
深夜枠をOKに
金曜の夜！！特に
何回か乗ったら景品をもらえる(ex「あいのりくん」のよう)
片道、往復のパッケージをそれぞれ設ける
どこでも行けるように

討議テーマ4.

渋滞を無くしていくための仕組みづくりを考えてみましょう！

Aグループのまとめ意見

得票数

1. 青信号の点灯時間の見直し
通勤時間帯によって信号の調整を変える
渋滞している場所の信号の操作

2. ライドパークを作る
市街地に行きたい人が近くの駐車場に止めてききょう
バスに乗り換える 10

3. 車の量を減らす
歩いた分だけポイントがたまる（多治見市の）うなが
っぱポイント
渋滞時間は走らない

・残したい意見

既存の道路の拡張

Bグループのまとめ意見

1. 車が多いから渋滞する。物理的に車の台数を減らす。
車を共有して車の台数を減らす（カーシェア）
公共交通機関を使う
積極的な免許返納

2

2. 環境が整っていないから渋滞。インフラの整備
道路を広げる
歩道の整備
市街地を走らないバイパス
地下鉄を作る

3

3. 交通マナーによる渋滞。心にゆとりを持って譲り合
いの精神を
思いやりがたりなく、ゆずらない
車間距離がなくブレーキ渋滞
完全自動化すれば解消するかも

7

・残したい意見

健康維持の為、歩こう！

4

Cグループのまとめ意見

1. 通勤方法
フレックスタイム導入
早めに出かける
自転車を使う
企業バスの送迎

14

2. インフラの整備と見直し
バイパス、遊歩道、自転車専用道路を作る

4

3. 道路以外のインフラ

病院を別の場所にする
電動自転車使用

2

・残したい意見

事故処理を早くしてほしい
事故後、故障車の処理、交通整理を早く対応してほ
しい 8

Dグループのまとめ意見

1. ハード面の改善

信号機のAI化
トンネル、バイパスの充実
橋を2本増設
市へ入る渋滞状況の表示

12

2. ソフト面の改善

交通マナーの向上
バスを使う

4

3. サービスの検討

市の催しのバスチケット配布
バス利用者にポイントサービス

3

・残したい意見

クラウドファンド提供者に優先サービス
長期計画（ex 50年）の確実な実施

7

Eグループのまとめ意見

1. 道路整備

2車線化、左車線を増やす、交差点の案内表示を
わかりやすく
19号、248号、市街地 道路を分ける。高架式等

7

2. 代替手段

公共交通機関の充実
バスの本数を増やす。夜遅くまで運行。利点を
考える

企業の始業時間変更、フレックスタイム制、在宅
勤務

4

3. 意識改革

思いやりの心を育てる（譲り合い9、マナー良く

各家庭での意識を変える（買い物する日等、車を使う日を考える）

1 1

・残したい意見

通勤以外の人は1日おきにしか車に乗れなくする

6

Fグループのまとめ意見

1. 設備

道路や橋を作る事も必要だが、時間がかかるので、まずは信号を

改良してスムーズに流れるように見直してほしい。

1

2. 車に乗らない

公共交通機関を利用したり、自転車を利用する
電動自転車の充電場所を作る

8

3. 意識改革

車をできるだけ使わない。歩ける距離は歩く。
車に乗らず動ける方法を考えよう。

3

・残したい意見

観光

お祭りなどに訪れる方が観光で回りやすい様に公共交通機関の充実

陶器などのおみやげの配送サービス

2

Gグループのまとめ意見

1. 車を減らす工夫をする。

太多線8各駅9ノパーキングをつくる。
数か所にレンタサイクルなど。

1 5

2. 今ある道路に一工夫する。

バス優先レーンを作る（時間指定）
自転車専用レーンをつくる。
歩くための道路の整備。

1 1

3. 新しく道路を作る。

バイパスを作る。
太多線の踏切の幅を拡げてほしい。

0

・残したい意見

JRの高架

大企業誘致の時は渋滞対策に責任をもってもらう。

1 2

Aグループで出た意見（付箋）

青信号の点灯時間の見直し

渋滞している場所の信号を操作する（より流れるように）

通勤の時間帯によって信号の調整を変える

交通状況の見える化 う回を前段階ですすめる

ライドパークを作る 渋滞する前のところで皆で乗り合わせる

市街に行きたい人が駐車場に止めてききょうバスに乗り換えてもらった人に何か補助する

渋滞時間は走らない 19号は横切るだけ

2大病院へ行く場合はなるべくバスを利用する

バス、自転車を利用する

歩きたくなる歩道を作る 広い道幅、明るい電灯

歩いた分だけポイントがつく（多治見市の）

ダイエットの為に歩く

市内は軽自動車でする

2人乗り以上の車に特別なレーンを作る

時間帯の大型車の乗り入れ禁止

19号線池田町交差点右折、県病院を取り市民病院までの道路の拡張

線路を乗り越える道を1つ増やす

Bグループで出た意見（付箋）

車を共有して車を減らす

車が多いから渋滞する

子どもが巣立った家庭では1台にする

定年過ぎたら免許返納を義務化する

免許返納してもらう

公共交通機関を使う割引を

通行の時間をずらす フレックスタイム

道路を広げる

道路が狭いから渋滞する

地下鉄をつくる

安全な歩道の整備

通貨車両は市街地を通らない道路にしてもらう

思いやりが足りない 無理に割り込む、車を入れてあげない e t c
無意味な車線変更やブレーキが多い
譲り合いの心が無い
車が完全自動化する
舍監距離をあける

歩け
歩いて目に見えるサービス
歩いた歩数によってステージわけ割引サービス

Cグループで出た意見 (付箋)

フレックスタイムの導入 企業のはじまる時間を色々にする
時差就業時間
早目に出かける
自転車を使う 通勤 通学
企業バスの送迎

インフラの整備
バイパス作る。
遊歩道を増やす。
安心して通れる道にしてほしい 自転車、歩行
自転車専用道路を作る。

高速道路 無料 多治見の 19 号を使わない
右折車線の問題解決
信号のタイミング (市民、上山) 19 号
生活道との住み分け

住民の生活に合わせたかんきょう作り
病院を別の場所にする
電動自転車の使用。
バス停に駐輪場 駐車場

生活圏をおびやかす通勤渋滞
アウトレット渋滞
ぬけ道に細い道を通るのでつまってしまう

事故処理を早くする。
事故などの時 車が道路で止まっている時 けいさつかんに後ぞく車交通せり

Dグループで出た意見 (付箋)

音羽の交差点から国長橋までが渋滞
渋滞調査のポイント
道路の幅が狭い
248 号～多治見 IC までの渋滞 → 19 号
橋の交差のネック 2 箇所 (・市民 HP ・昭和小)
土岐川の橋 7 つ
車線変更のわかり易い表示
信号が多い → 見直し

あと 2 本橋があれば渋滞が緩和できるのでは？
市へ入る為の看板作り
渋滞情報 電光掲示板
時間帯により車線の変更をする (ex 岐阜市)
昔の橋の復活
トンネル 国長橋～多治見 IC
駅の送迎用の道路を地下に通す
クラウドファンド ¥100 万～
駅前のスペースを広いロータリーにしていく
信号機に AI 管理を導入
バイパス (・生活者 ・通勤者)

市民活動 → バスを使う
バスを使いましょう 市長を先頭に！
市役所職員 市の公務員が率先してバス使用
交通マナーの向上によって渋滞が緩和されるのでは

市の催物にバスチケットを出す
バスを使った人にポイントやサービスを提供する
☆
安全を守りながら渋滞を緩和する

長期的スパンで、市が買う予定の土地を！！
市が貸駐車場として土地を確保していく
多治見市の渋滞対策は何時頃？

Eグループで出た意見 (付箋)

2 車線化をする
左車線を増す
・ 2 車線化
・ 左折レーンを作る (池田交差点等) (インター前 北消防署側)
1 車線が多い

交差点の案内表示を分かりやすく
19号・248号・市街地の道路が交差する
19号・248号を高か式にする
市民病院前の渋滞かんわ。
立体交差にする（市民病院前）
市民病院 県病院の道の渋滞かんわ（立体交差）
橋を2段式にする（市民病院前）
駅に向かう道とこう外へ向かう道を分ける

公共交通機関の充実
バスの運行本数を増やす
バスを夜遅くまで運行していただく
駅まで行く人がバスを使うような利点を考える（定期券の金額の割引など）
名古屋方面の勤務の人の送りが多い
企業さんの始業時間の変更
県の主導でフレックスタイムや在宅勤務の導入
フレックス勤務を取り入れる

マナーが悪い人がいる
マナーを良く
思いやりを育てる（ゆずりあい）
各家庭での意識を変える（買い物する日等）

通勤以外の人は、1日おきしか車に乗れなくする。

Fグループで出た意見（付箋）

①

時間帯での警察による先導
信号の右折など すぐに変わるのではなくて、しっかり流して欲しい
高速道路設置（通りぬけの車）
橋の本数をふやす
まず信号の長短を変える
→の時間を長くする
車が多いので
車が多いので乗る人も混雑する道はさけて時間がかかっても通行する
時間帯で道路をふうさ

②

自転車専用道路
バス路線が利用できる場合はバスを有先的に使う →
バスを充実させることもでき一挙両得

行きは自転車、帰りはバス（自転車を乗せられるもの）
電動自転車の充電場所をつくる。
一般家庭による充電場所の申請
アシスト付自転車の充電をコンビニで
電動機付自転車への補助金制度
あいのりタクシーなどで地域別にそうげい

③

一通の道で、通勤通学時間帯での駐・停車の禁止
銀行の人も郵便局の人 バイクで仕事をしているので
他の交通機関もなるべくバイクで仕事をする。
車をできるだけ使わない。歩ける距離は歩く。
車をふだん使っている人の意識が変わらなければどうにもならない
車を使わないで買い物したらちょっとわりびき残
お祭りに来られる方を公共機関で来てもらって、陶器など買われた物を宅配する
地元の方が生活しやすい抜け道などがあると良い
道路が昔から変わらない

Gグループで出た意見（付箋）

道路に一工夫

- ・バス優先レーンを作る（時間指定）
- ・自転車専用レーンを作る
- ・歩くための道路の整備

車を減らす

- ・太多線のパーキングをつくる
- ・企業誘致の時には交通渋滞の対策をしてもらう
- ・パークアンドライド
- ・病院巡環バスを作る
- ・カーシェアリング
- ・工事情報を自前に知りたい
- ・数か所にレンタサイクルをつくる
- ・電動自転車補助金をつける
- ・イベント全般 シャトルバスを出す

混雑をさける自分脳ナビ
混雑する時間にとおらない
抜け道を活用。

県病院前に橋をかけてほしい
バイパスを作る 瀬戸に一気に抜ける
春日井・土岐バイパス

太多線の踏切の中を拡げてほしい☆
新宿のような動く歩道をつくる
高架にしてほしい JR☆

資料 2. 参加者アンケート

参加者全員にアンケートへの回答をお願いし、以下のような結果を得た。

設問 1. 参加動機についてお聞かせください（複数回答可）

テーマに関心があったから	16	(37%)
新しい市民参加型だから	7	(16%)
無作為抽出で選ばれたから	14	(33%)
その他の理由	6	(14%)

自由記述（主なもの）

- ・30代 女性 市民活動に関心があるから
- ・20代 女性 取り組み自体に興味があったから
- ・50代 男性 ボランティアの義務を感じたため

◎参加者の多寡はテーマの設定に大きく左右される傾向にあるといえる

設問 2. この討議会は、市民の声を行政に伝える手法として適していると思いますか？

適している	30	(81%)
分からない	6	(16%)
適していない	0	(0%)
その他・無回答	1	(3%)

◎過半数は適していると考えている。

設問 3. これまでに地区懇談会など、市が主催する討論の集まりに参加したことがありますか？

ある	8	(22%)
ない	29	(78%)
無回答	0	(0%)

◎関心が無いのか、時間的な制約があったのか

設問 4. 市民討議会に限らず多治見市の市民参加の企画に今後も参加したいと思いませんか？

参加したい	6	(16%)
都合が合えば参加したい	28	(76%)
参加したくない	3	(37%)

◎参加したくないという否定的意見はないが、積極的な参加意思は少数

設問 5. より具体的な感想（意識の変化）をお聞かせください（複数回答可）

参画意識がより持てた	18	(34%)
積極的に行動すべき	20	(38%)
行政に関心が持てた	12	(22%)
特に変化はない	3	(6%)

自由記述（主なもの）

- ・50代 女性 住んでいる街だから今の状態を理解して、より良く住みやすい愛着の持てるまちにしたい。
- ・50代 男性 自分の街は自分たちで良くするのは市民の義務だと思います。
- ・30代 女性 市政を身近に感じる事ができたから。初めて当事者意識が芽生えました。
- ・10代 女性 今まであまり考えたこともなかったし、現在の状況も知ることができたから
- ・30代 女性 発表することによって責任が少し湧いてくる。
- ・50代 女性 私は他人任せでしたが、市もまじめに取り組んでいるんだなと思いビックリしました。
- ・30代 女性 市の交通施策について具体的にすることができたから。
- ・30代 女性 今まで知らなかった情報を聞くことができた。問題点や現状を知ることができた。
- ・30代 女性 行政ですでにたくさんの対策を講じていることが具体的にわかり、市民も当事者意識をもって街づくりをしながら住みたいと感じるようになりました。

◎概ね積極的な行政への関与を示すが、今後行動に移すか疑問

設問 6. 今回市民討議会の謝礼についてどのように感じますか？

あった方がよい	30	(83%)
ない方がよい	4	(11%)
その他	2	(6%)

◎概ね謝礼を支給する意義は理解されている

設問 7. 今後、市民討議会の討議テーマにした方がよいと思うテーマや、日頃関心のあるまちづくりに関する事項がありましたらお聞かせください。

自由記載（主なもの）

- ・60代 男性 限界集落
- ・40代 男性 世間間、地域内でのコミュニケーション
- ・20代 女性 多治見の観光について
- ・40代 女性 子育て（教育）

- ・ 30代 女性 行政の情報をわかりやすくする方法。
- ・ 40代 男性 将来の多治見の展望
- ・ 50代 男性 中学校の部活について
- ・ 20代 女性 若年層の定住、移住について
- ・ 60代 男性 町内会、自治会について
- ・ 50代 女性 助け合い、近所付き合い

◎過去に取り上げたテーマもあるが、新たな観点から参考にしたい

設問 8. 討議会のスタッフとして参加してみたいと思いますか？

参加したい	8 (22%)
参加したくない	12 (32%)
分からない	17 (46%)
無回答	0 (0%)

◎積極的に参加したいは少数だが、活動内容を丁寧に説明し積極的な勧誘を行う